

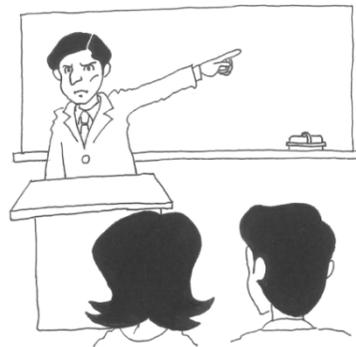
弟 ミラ誕生



ミラの出現に、「ママ盗られた！」とミウの苛立ちは頂点に達しています！それを見てパパは「ミウが悪い！」って怒鳴っています。このままだと「虐待になっちゃうよ！」って、気付いたらママが一番大きな声で怒鳴っていました…。

最悪！！どうしたらいいの？

ミウは一時保育で日中預かってもらうことになりました。たまにミラを見てくれる祖母にも感謝しなきゃ。その間、パパとママは“障害の受容”に関する講座を受講しました。パパは、グループワークで一緒になった別の子のパパとお友達になったみたい。まだ100%障害を受容できているとはいえないけど、それはこれからだよ。講座帰りにパパと、大好きな鮎ラーメンを食べて帰りました。何とも久々だなあ。



計画事業

①教育的な広報活動 ②自己学習のサポート③偏見の除去・軽減といった3つの活動をそれぞれ連動させながら「福祉啓発活動」を充実させていきます。

- 当事者・家族対象福祉啓発活動の充実 (68 点)
- 一般市民対象福祉啓発活動の充実 (70 点)
- (仮称)地域サポーター講習の開催 (64 点)



実施主体：三浦市・社協・神奈川県・市民活動団体

ミウは支援級、ミラは普通級に進学

小学校入学当初、ミラは「お姉ちゃんと一緒に嬉しい！」なんて言っていました。ところが…ミウが6年生・ミラが4年生になったとき「お前の姉ちゃん障害者！」とクラスメートにからかわれたミラが「お姉ちゃんなんか嫌い！」と泣きながら帰ってきたのです。

ミラたち4年生は福祉教育で、障害者について学びました。「三浦には色々な人が暮らしているよ。見守ってあげてね。」と教わりました。担任の先生の助けもあって、からかわれたり、いじめられたりすることはほとんどなくなり、仲良くしてくれる友達もいます。学校帰りに通い始めた地域の囲碁・将棋サークルでも、歳の離れた友達が沢山できたようで、心のよりどころになっているみたいです。ママに連れられて、

ミラは同じ「きょうだい児」のお兄さんたちと話し合いました。ミラは時々、ミウに酷いことを言ったり、喧嘩したりしていましたが、他の皆も同じなんだと知って、心のつかえが取れたみたいです。ちなみに、最後までミラをいじめていた子は、昇級時に別のクラスになったのですが、そこでは逆に、いじめられているんですって。でも、ミラはとても偉いんです。「一緒に将棋サークルに行こう」と誘い、その子と仲良くなってしまいました。もう友達、ですって。



計画事業

- 福祉教育の充実・支援 (70 点)
- 教職員に対する福祉教育支援 (70 点)
- 市民交流の場の確保 (72 点)
- きょうだい児サークルの組織化・支援 (66 点)



実施主体：社協・三浦市・当事者・市民活動団体

サービス等利用計画の策定



ミラもすっかり落ち着いたし、ママもそろそろ働きたいなぁと思っていた矢先、家に広報紙社協みうらが届き、そこに「児童デイサービス HUG くみ」の記事がありました。ミウも利用できたら、仕事に行けるし、用事の時も便利かも！と思い、早速ミウと見学に行ってみました。HUG くみはとても楽しそう！でも、いざミウと長時間離れるとなると、ママは少し寂しい気がします…。

HUG くみを利用するためには、「サービス等利用計画」をつくる必要があったことから、相談支援事業所エールの斉田さんに相談しました。斉田さんとお話ししたら、ミウの将来のためにやるべきことが少し見えてきました。ちょっと寂しい気はするけど、ミウに HUG くみでお友達を増やしてもらおう！と決心。HUG くみ以外にも、ショートステイやホームヘルパーを活用して、保険のセールスを始めました。

そうそう「HUG くみ」を見学した際、最近めっきり老け込んでしまった祖父母の話をしたら、高齢者ふれあいサロンを紹介されました。こういうのをワンストップって言うんですね。総合福祉センターに来て本当によかったな。

話は変わりますが、ミウとスーパーマーケットに行くと「手伝います！」と袋詰めを手伝ってくれる人がいるんです。ミウから目が離せないのが本当に助かります。つついこのスーパーを利用してしまいます。

計画事業

ニーズとサービスを結ぶ支援システムの充実を図るとともに、障害児者関連施策の充実をめざします。

- 相談支援事業の充実 (48 点)
- 障害児者福祉施策の充実 (49 点)



実施主体：三浦市・社協・事業者

パパ リストラに遭う！



「自分だけは絶対ないと思っていたのに…」とパパは落胆しています。何とかパパのお尻をたたいて就職活動をさせているけど、この不景気だし、仕事はあるのかしら？初めての面接から帰ってきたパパは、浮かない表情でした。これは長期戦になるかもしれない…。生活費、どうしよう？ミラは塾に行きたがっているし…。

ミウを送り届けた時、パパのふさぎ込んだ様子から事情を知った HUG くみの職員が、社協が実施する「生活福祉資金」という貸付制度を教えてくださいました。パパは「ミウ、ミラのために！」と頑張ってハローワークに通い詰め、何とか新しい仕事に就きました。収入はかなり減ってしまったけど、なんとか家のローンを返済しながら生活できそうです。ミラは、社協が生活困窮者支援の一環として始めた「学習塾」に通えることになりました。この塾に通えるのは、市社協会員の皆さんによる寄付のおかげです。



計画事業

生活困窮者自立支援法の施行に伴い、生活保護に至る前の段階の生活困窮者に対し、自立相談支援などを実施します。

- 生活困窮者支援システムの構築 (80 点)
- みうらっ子育成寄附金の活用 (37 点)
- 寄付文化の醸成 (72 点)



実施主体：三浦市・社協

ミウを見る目



ミウの中学校生活も残りわずか、卒業後はY市にある養護学校の高等部に通うことが決まっています。そういえば、中学に進学するとき、養護学校にするか、支援級にするかで悩んだな。仲のいい友達と離ればなれにするのは可哀想と支援級を選んだけど…。早いもので、ミウも高校生。今日はミウと一緒に、制服をつくりに行きました。ミウがバスの中で、大好きな「金魚の生態」について繰り返し大声で話しています。どうやら中学校で金魚を飼っているらしく、最近ミウのおしゃべりは金魚のことばかりです。すると、バスの後ろの方から、「うるせえなあ。静かにしろよ!」という怒声が飛んできました。ママは胸の中がキーンと冷たくなって、耳は真っ赤になりました。そして、次のバス停でミウを連れて逃げるように降りてしまいました。ミウは「バスもうおしまい？ 駅までバスに乗ります？」と辛そうな声でママに聞くので、ママは「ごめんね、ミウとママは歩きます。」と、ミウの手を握り締めました。

制服屋の店員さんに「高校の制服、とってもお似合いですよ。すっかりお姉さんですね。」と声を掛けてもらい、ママは少しだけ、胸の中が暖くなるのを感じました。ミウも笑っていました。バスの中で怒鳴っていた人も、ミウのことを優しく見つめてくれたらどんなにいいことか、とママは思いました。



計画事業

いじめの撲滅と偏見による差別を許さない社会を実現します。

●いじめに関する相談体制の確立 (55 点)

- ① “いじめ” を冠した相談窓口を設ける
- ② (仮称) いじめを許さない市民運動の展開

実施主体：三浦市・社協・教育関係者

家族の近況です



ミウは高校1年生になりました。先生には「訓練すれば自力登校できるかもよ!」って言われているの。高等部にはバスの送迎サービスがないんです。自力通学か…最近物騒だし、ミウが面倒を起こさなければいいんだけど…。結局ミウは、有料の通学支援を利用することにしました。

ママは、草むしり等、自治会の集まりにできるだけミウを連れ出し、地域の人達にミウのことを知ってもらおうと思っています。すると、徐々にではありますが、挨拶をしてくれる人が増えてきました。9月には、自治会の避難訓練に参加し、避難路の確認や消火訓練をおこないました。家庭での備蓄や避難袋についてのレクチャーもあって、ためになったな。

ミラは、中2になってすっかり反抗期だけど、ミウには意地悪したりしません。ミラなりに気を遣っているんだろうな。

パパも、新しいお仕事にも慣れてきたみたい。この前ミウが熱を出したとき、仕事にもかかわらず、パパがミウを学校まで迎えに行ってくれました。職場の上役が「大変だね。早く帰ってあげなさい」と配慮してくれたそうです。周囲の人々の理解のおかげで、一家は何とかやっています。



計画事業

当事者(家族)自身が抱えているステイグマ(セルフステイグマ)を取り除くための支援を実現し、当該者の社会参加を促進します。

- セルフステイグマを克服するプログラムの開発 (69 点)
- 育児・介護休暇の利用促進 (38 点) ●三浦市独自の障害児者支援 (51 点)

実施主体：三浦市・社協・企業・当事者

ミウの将来について



ミウが高校に通い始めて半年になります。卒後の進路、どうしようかな…。ミウに「何になりたい？」って聞くと「通学支援の運転手さんと結婚します。」と言います。

それは素敵な夢ね…って、今はそれでいいけど、ママがいなくなったらミウはどうやって暮らすのかな？

エールの斉田さんに相談したら「他のご家族も同じように悩んでいるんですよ。」と「育児サークルにっこにこ」を紹介してくれました。ママは勇気を出して「にっこにこ」の集まりに参加してみました。そして「みんな悩んでいるんだな」と知り、共感する仲間ができました。

しかも「にっこにこ」のママたちは、市や社協職員に「こうして欲しい！！」と意見を言っています。ママが、他のママに「意見が言えるなんて、皆さん凄いですね」って言う。「私も1人だったら我慢していたと思う。みんなと一緒に言えるのよね。」ですって。



計画事業

●市民活動の推進・支援 (72 点)

●ソーシャルアクションの市民的展開の支援 (67 点)

市や県等に改善を求めなくてはならない物事に対して、市民が団結して声をあげることが世論を動かす原動力となります。ただし、必ずしも個人の方で実施できる訳ではなく、同じ立場から一緒に声をあげてくれる仲間の協力によって、推進力が生まれます。

実施主体：市民活動団体・社協

地震だっ！！



ママは家で晩御飯の準備をしているところで、急いで火を止めました。安全を確認してから外に出てみると、信号機が止まって、早くも交通渋滞が始まっています。そのすぐ後、ミウは歩いて家に帰ってきました。ミウは大丈夫かな？持たせている携帯電話も繋がらない！津波が来るかもしれないから、避難先に移動したいけど…。ミウを置いては行けないし！

幸い津波は来ませんでした。ミウも無事です。交通渋滞で時間はかかりましたが、通学支援の運転手さんがミウを連れ帰ってくれたのです。

よく考えたら、水も何も備蓄してなかった…。その日の夜、3人でスーパーマーケットに行ったら棚はガラガラです。せっかく自治会の避難訓練で勉強したのに、何も備えてなかったな。これはママの責任。反省です。



計画事業

日頃からの住民間の関係性を強化し、災害に強い“まちづくり”を進めます。

●防災対策の強化 (88 点)

●個々人の防災意識の向上 (71 点)

●災害弱者に配慮した防災・被災対策の強化 (88 点)

実施主体：市民・自治会・三浦市